

庁議報告事項

開催日：平成28年4月4日(月)

1 岡崎市長から

- 週末は、高知城花回廊や講演会等のイベントが開催され、対応した職員はご苦労様でした。日曜日は雨に見舞われ、残念であったが、近年は、インターネットでイベント情報を見ることが出来るため、県外からの観光客も多く、高知城花回廊は4万人を超える入り込みがあり、良かった。
- 新年度が始まり、吉岡副市長の3期目がスタートした。新しい体制の下で、よろしく願います。
- 大規模な工事については、順調に発注されているが、新庁舎については、入札が不調となり、4月中に再公告する。このことにより、完成が遅れることが見込まれているが、工期の見直し等により、遅れを最小限度に留めるよう、対応をよろしく願います。
- 新年度も、引き続き、県との連携を強化していく必要がある。県の施策を活用するものや、県市で役割分担をしながら取り組むものなど、施策に応じて連携の手法も異なってくる。県は、課題を整理・分析しながら取り組んでおり、連携にあたっては、県の施策についても、十分に理解したうえで取り組むこと。
- 人事異動では、課長級が大きく異動している。議会で約束した案件などについては、抜かりが無い様に注意するとともに、部局内でのミーティングを行うなど、情報共有に努めること。
- 平成28年度の市政概要の説明資料が完成した。地方創生の推進や、南海トラフ地震対策など、市政の重点課題については、一通り網羅されているので、各部局で地元説明を行う際などに活用してほしい。(詳細は資料に沿って説明)

2 吉岡副市長から

- 土日の行事に従事した職員は、ご苦労様でした。
- 4月より、3期目を迎えたが、1期目と2期目は、財政再建の取組により、人件費の削減や定数の縮減、事務事業の縮小、廃止など、多くの苦労をかけた。しかしながら、この厳しい時期を乗り越えてきたからこそ、今があるのであり、引き続き財政健全化に努めながら、人口減少や少子高齢化など、今後も市政課題に取り組んでいかなくてはならない。
- これまで財政難を理由に取組が出来ていなかった事業等についても、限られた財源を活用しながら、選択と集中により取組を進めていかなくてはならない。業務の実施にあたっては「鳥の目、虫の目、魚の目」の視点を持って取り組んでもらうとともに、次世代の市役所を担う人材を育成するために、世代に応じた人材育成の視点を持ち、今後も市長を中心として、力を合わせながら取り組んでもらいたい。
- 新年度がスタートし、引き継ぎ等は十分に行っていると思うが、業務に支障が生じることのないよう、よろしく願います。

3 井上副市長から

- 在任1年が経過し、これまでのご協力に感謝申し上げます。引き続き、地方創生の推進などでは、お世話になるが、よろしく願います。
- 参議院議員選挙を見据え、国においては、補正予算に向けた動きが活発化している。保育士の給与引き上げや、若者への支援策に動きがあるとの情報もあり、動向には注視しておくこと。

- 国は、5月にも「ニッポン1億総活躍プラン」を改定するとの情報があり、動向に注視しておくこと。
- 4月30日に、土佐経済同友会の2016年度オープン定例会が開催され、「来るべき大震災に備えるための家族の絆づくりと心構え」と題して、復興副大臣の長島忠美氏の講演会が開催される。長島氏は、平成16年の中越大地震の際に、山古志村の村長として住民避難や被災復興に手腕を発揮されており、参考となるので、聴講してもらいたい。

4 各部局から

○ 委員会審議状況報告

- ・ 建設環境常任委員会（上下水道局）
- ・ 行財政改革・新庁舎整備調査特別委員会（総務部）